

## 普通の毎日を生きる幸せ

山路 かおり（和歌山県和歌山市・四十七歳）

義兄ちゃんに最後まで伝えられなかった言葉を手紙に託します。天国で苦笑いしながら読んでくれたら幸いです。

毎年受診していた人間ドック。去年は心臓に異常があると要検査、心臓の末期癌、余命宣告。五十歳でこんな人生の急展開を予想もしなかったでしょう。でも皆の前では気丈に頑張りましたね。けれど夜中に部屋の片隅で咽び泣いていた事を、家族は知っていました。息子達は立派に成人したけれど、結婚十年目で授かった愛娘の事は、心残りであったと思います。昨年、愛娘の為に五年延命を信じて十時間に及ぶ手術を受け、副作用に苦しめられながらも一生懸命、必死で生きようと闘ってきたのに、僅か十一ヶ月で旅立った事が悲しくて仕方がありません。抗癌剤の為の入退院を繰り返しながらも、最後は自宅で苦しまずに穏やかに旅立ったことが、生きる事に全力を尽くした褒美であったと思います。

ずっと言えなかったけれど心から感謝しています。三十代後半になっても結婚しない私に、憎まれ口を言いながらも男性ばかりの職場を紹介してくれた事、私の結婚式が終わってから色々心配してくれていた事、今を幸せに結婚十年目を迎えられるのも、全ては義兄ちゃんのお蔭です。心から有難う。私に子供は授からなかったけれど、残してくれた甥や姪という宝物を大切に守っていくから、天国で見守っていて下さい。それが私に出来る唯一の恩返しです。

旅立ってから二ヶ月が経ちましたが、近況です。娘はお葬式から二日後の受験だったけど、無事に志望校に入学しました。制服姿、本当に可愛いです。早速アルバイトを見つけ、何とか頑張っています。余り胸のうちを話す娘ではないけど「毎日、お父さんの事を思い出している。」って。喪主を務めた長男は来月の結婚式を目前に控え、慌しくしています。親孝行の為に式を早めたのにな。義兄ちゃんの席を用意しているそうです。次男は入社六年目で後輩が出来たようです。地方で一人暮らしだから、たまに見に行けたらと思います。子供たちは、心配しないで大丈夫ですよ。

追伸。何気ないあたり前の毎日を普通に過ごせることが、こんなに有難く幸せな事だと知ることが出来ました。本当に有難う。痛みや苦しみのない無限の空で、安心してゆっくりと眠って下さい。いつかまた、お逢いできる日まで、お疲れさま。